

武田薬品からインチュニブ錠®の服用方法で注意喚起

医療関係者各位

インチュニブ錠 1mg、3mg は **徐放性製剤** です
～分割、粉碎、かみ砕いての処方・投与・服用は
しないでください～

2025年2月

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社製品「インチュニブ錠 1mg、3mg（一般名：グアンファシン塩酸塩）」につきまして、分割、粉碎、かみ砕くなど、誤った方法にて処方・投与・服用したとの情報[※]を複数入手しております。これらの事例のうち、一部は患者自身又はその家族の自己判断による用量調整のために分割された事例もありました。

本剤は徐放性製剤であることから、服用に際して割ったり、砕いたり、すりつぶしたりしないで、そのままかまずに服用することを電子添文及び各種資材（患者向け資材等）にて、注意喚起しております。

各医療関係者におかれましては、下記事項を確認いただき、誤った方法にて投与されないよう注意いただくとともに、患者への服薬指導の徹底をお願いいたします。

謹白

【*出典：社内資料及び公益財団法人 日本医療機能評価機構
（医療事故情報収集等事業及び薬害ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業）】

- **本剤は徐放性製剤であることから、分割・粉碎したり、かみ砕いて服用すると急激に血中濃度が上昇し、重篤な副作用が発現するおそれがあります。**
- **患者には、割ったり、かみ砕いたりせずに、そのまま服用するよう、患者向け資材（インチュニブを飲んでいるみなさまへ）もご活用の上、服薬指導の徹底をお願いいたします。**

【お問い合わせ先】
武田薬品工業株式会社 <すり相談室>
フリーダイヤル 0120-566-587
受付時間 9:00～17:30（土日祝日・弊社休業日を除く）

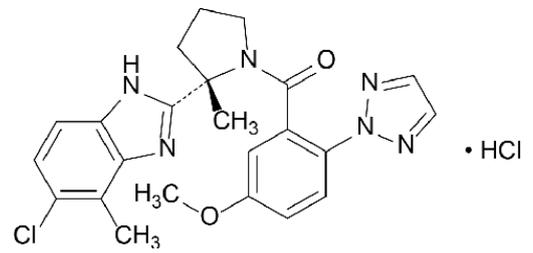
本誌の最新の電子添文等は、専用アプリ「添文ナビ」より
QRコードを読み取りの上、ご確認ください。



オレキシン受容体拮抗薬 クービビック®錠 25 mg・50 mgが新発売

不眠症治療薬クービビック®錠 25mg, 50mg (一般名：ダリドレキサント, 以下「クービビック®」) が塩野義製薬(株)/ネクセラファーマジャパンから新発売されました。

クービビック®は経口の不眠症治療薬であり、覚醒を促す神経ペプチド (オレキシン) の受容体 (OX1R および OX2R) への結合を選択的に阻害するデュアルオレキシン受容体拮抗薬です。本剤はオレキシンの受容体への結合を阻害することにより、過剰な覚醒状態を抑制し睡眠状態へ移行させることで、効果の発揮が期待されている薬剤です。



ダリドレキサント塩酸塩



オレキシン受容体拮抗薬は、2014年にベルソムラ (一般名：スボレキサント) が世界で初めて発売され、2020年にデエビゴ (一般名：レンボレキサント) が発売されました。

そして、その4年後、2024年12月19日に今回紹介しておりますクービビック (一般名：ダリドレキサント) 発売されました。

薬価はクービビック®錠 25mg が1錠 57.30円, 50mg が1錠 90.80円となっております。

クービビック®錠はデエビゴ®錠と比較して、効果発現が速くさらに体内での留まりも短いことから、入眠困難な不眠症の治療に向いていると考えられます。翌朝に眠気が残ってしまう心配が他剤と比べると比較的少ないといえます。

一方、薬の一包化が必要で他の薬剤との相互作用が懸念される場合は、デエビゴ®錠の選択を考慮し他方が無難であると考えられます。なぜなら、デエビゴ®錠はクービビック®錠と比較すると併用禁忌の薬が少ないからです。

★編集後記

以前、取り上げられたベタニス®錠ときに粉砕不可の注意喚起がなされておりました。徐放性製剤はその特徴として長い時間作用する反面、特殊加工されたくすりですので、くれぐれも砕いて服用したり半分に割ったりと誤った方法はダメなのです。おくすりは正しく使うことによっては副作用の危険も回避でき、正しき適切な利用で安心安全な薬物治療が行うことが可能となります。



薬剤科. 野村